
メイドな会長と奴隷君

本間マグロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

メイドな会長と奴隷君

【Nコード】

N1308BA

【作者名】

本間マグロ

【あらすじ】

私立星嵐学園高校の生徒会長、皆川ツバサと主人公である俺、牧原耕太郎の送るちょっとエッチなメイド系青春ラブコメディー
メイドが主人公が今ここで咲き乱れる！！！！！！！！

プロローグく出会いですか？？く（前書き）

主人公である牧原耕太郎と生徒会長の皆川ツバサが送る

メイドラブコメディーの始まり始まり……。

プロローグ 出会いですか???

みながわ
皆川ツバサ

高校二年、性別女、私立星嵐学園（せいりつせいざんがくえんこういんがくえん）の生徒会長である。

おそらくはこころ周辺の人間はこの名前を知らない奴らはいないだろう。

文武両道、成績優秀、大和撫子まさに学園の看板であり学園のアイドルしかもみんなが羨む

パーフェクト人間でもある。

なんせあだ名が「ツバサ様」である。

特に男女関係なく人気もあり教師などからも信頼されている。

他校からの生徒にも評判が良くラブレターや愛の告白などがある。

噂によるとこの一年半で約百人の男女の告白を冷たく断ってきた女である。

まさに平成（へいせい）の雪女（ゆきめんなな）である。

支持率はなんと98%凄まじい支持率である。今現在の総理大臣にもこれくらいはあつてほしいものだ。

そんなパーフェクト人間「ツバサ様」と平凡で体が頑丈だけが取り柄な俺こと、牧原耕太郎（まきはらこうたろう）が送る。

ラブコメディである……がここで疑問を感じる奴がいるかもしれない。

そうこの小説の題名は「メイドな会長と奴隷君」である。

生徒会長と奴隷こと俺がいるのになんとメイドがいないのだ!!

どこにいるのかなと思うまさか空からメイドが落ちてくる……なんてメルヘンなことは起きない。

じゃあメイドが突然俺の家に来る……わけでもない。

もう一度言おう、この小説の題名は「メイドな会長と奴隷君」である。

そうメイド”な”会長は重要なことだから二度言おう「メイド”な”会長」である。

もうわかった奴はいるだろう。

正解はあのパーフェクトな生徒会長、皆川ツバサがメイドだということだ。

あんなに真面目でお淑やかな彼女に限ってそんなことはないと思ってたよ最初までは。

2012年4月10日この日はなんと学校の都合により休みであった。

この休みを利用して今回、新発売したゲーム『モンスターハンティング3G』を買いに来ている。

そのためこの日はたまたま隣町に来たのである。

運が良かったことになると『モンスターハンティング3G』の最後の一個を手に入れることができたのである。

俺はこの嬉しさに浮かれルンルン気分嬉しさのあまり気分を変えていつも帰りに通っている大通りを通らず。

少し大回りして帰ったのが運の尽きだった。

俺は少し喉が渴いたので近くにある自動販売機に自転車から降りて駆け寄る。

俺が見つけた自動販売機は3つ横並びになっていた。

そこまでは良かったんだよそこまでは……ただ横に違和感を感じたんだ、だって……だって……

メイドがいたんだもん！！

さすがに俺もテレビや雑誌などでは見たりするのだが初めて生メイドを拝むこととなる。

いやいやマジでいるんだよ！！俺の目が死んだのかっと思てしまった。

頭に白いカチューシャ付けて黒いスカートに白い純白のエプロンまさにメイドそんなことに目を白黒させている俺にメイドが気付いたのかこちらに視線を向けると。

俺は固まった。目の前のメイドが誰なのか分かったのである。

その名は”皆川ツバサ”はじめは可愛いメイドだな〜と見ていたのだがフツと違和感を覚える。

誰かに似てる思い出せずについてとジツと眺めていたらこちらを振り向いたその時にやっと思い出した。

「…………皆川ツバサ?？」

俺は驚きのあまりに名前を口走ってしまった。

「ふえ!??」

と可愛い声を上げながらついさっき買った炭酸系のジュース6本分をガラガラと落とす。

俺はびつくりしてしまい言葉を失くす。

メイドがこちらをいて訪ねてくる。

「なぜ???私の名前を???」

と驚きのあまりこちらに質問を投げかけてくるツバサ。

「へえ??？」

と間抜けな声を出す。これにより少しフリーズしていた脳が動き出す。

「あ……なんでって??それはあんたと同じ私立星嵐学園高校の生徒だからかな??」

と質問を疑問で返す俺の脳は未だ半分フリーズ状態である。

するとツバサは嵐のように自動販売機から逃げるように去って行った。

その成果ポツけんとしており飲みもしないジュースのボタンを押したのに気付くのに数十秒、掛ってしまった。

この出会いにより俺の高校生ライフが崩れ去り始めていたことを知る由もなかった。

続く(かも!?)

プロローグの出会いですか？（後書き）

どうでしたでしょうかひんなてんがりましたが、少しずつ書き直していきたいと思っています。

それでは皆様この小説を読んでもう読者の方々に感謝をして今回はここで閉じさせていただきます。

次回は生徒会長と主人公が……。あとは次回をお楽しみにそれでは

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1308ba/>

メイドな会長と奴隷君

2012年1月3日05時47分発行